



令和6年11月20日15時40分頃の陸奥湾の地震について

～日頃からの地震への備えを心がけてください～

令和6年11月20日15時40分に陸奥湾を震源としたマグニチュード5.1の地震（最大震度4）が発生しました。

今回の地震の震央周辺では、16日から地震活動が見られ、震度1以上の地震を21日までに合計8回（震度4：2回、震度3：1回、震度2：2回、震度1：3回）観測しています。その後、11月27日12時時点で震度1以上を観測した地震は発生していませんが、微小な規模の地震の活動が引き続きみられます。

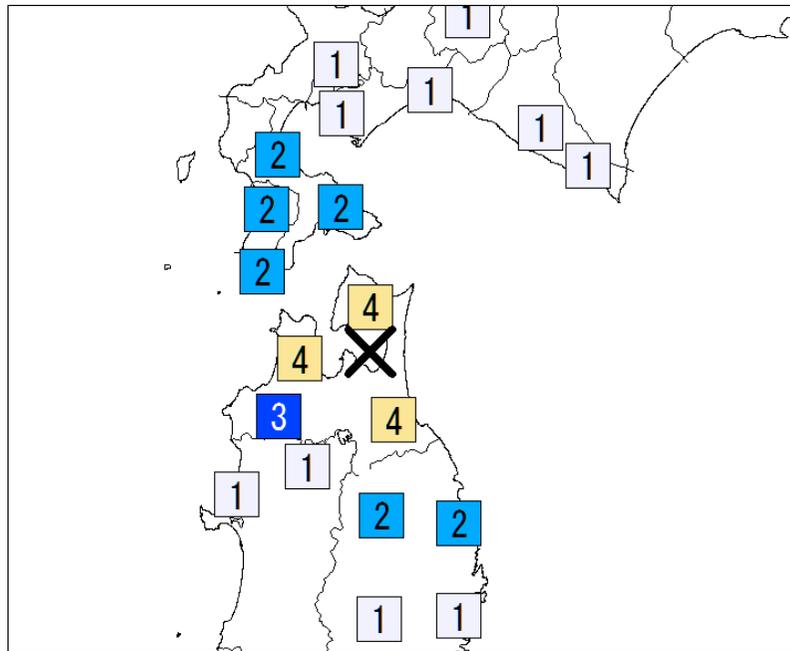
今回の地震活動の周辺は、過去に目立った活動がみられていない場所でしたが、このような場所でも強い揺れを伴う地震が発生することがありますので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

本件に関する問い合わせ先：青森地方気象台 電話 017-741-7411、7413
(平日8:30～17:15)

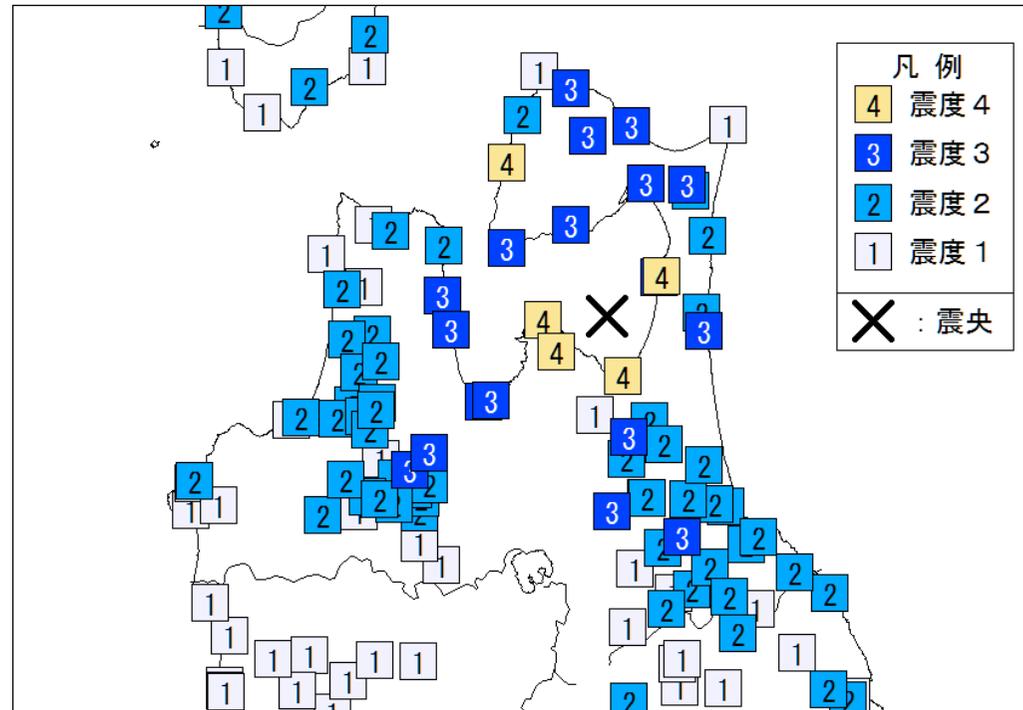
地震の概要と震度分布図（11月20日の地震）

地震の発生時刻	11月20日15時40分
マグニチュード	5.1（暫定値）
場所及び深さ	陸奥湾 深さ10km（※11月16日の地震とほぼ同じ場所）
震度	【最大震度4】青森県の平内町、野辺地町、横浜町、佐井村で震度4を観測したほか、北海道、青森県、秋田県、岩手県で震度3～1を観測
地震活動の状況 27日12時00分現在	11月16日以降、今回の地震を含めて、震度1以上を観測した地震が8回発生（震度4：2回、震度3：1回、震度2：2回、震度1：3回）

震度分布図（広域：地域震度）

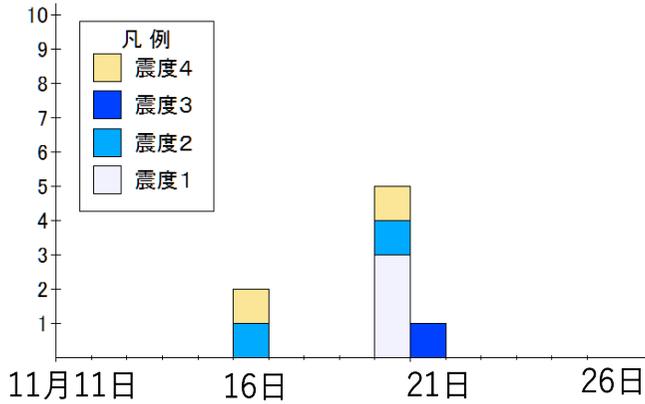


震度分布図（拡大：観測点震度）



陸奥湾の地震で青森県内で震度1以上を観測した地震の回数と主な震度分布

日別・震度別地震回数図
2024年11月11日～27日12時00分

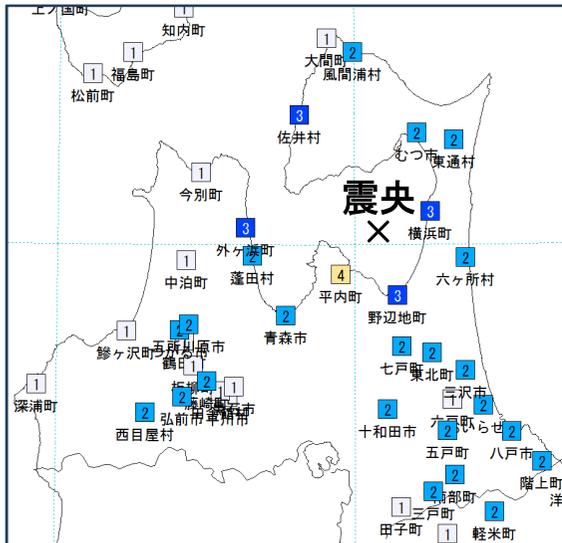


震度1以上を観測した地震の表

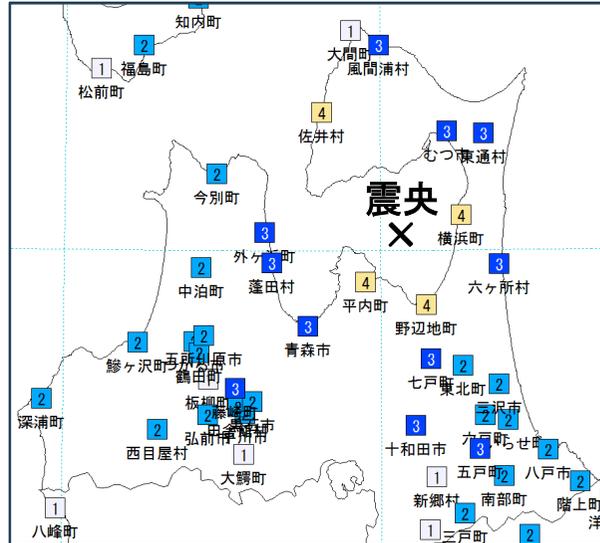
データは11月27日12時現在

No.	発震時 (年月日)	発震時 (時分秒)	深さ (km)	M (マグニチュード)	青森県最大震度
1	2024年11月16日	21:22:18	8	4.6	4
2	2024年11月16日	23:53:03	8	3.4	2
3	2024年11月20日	15:40:16	10	5.1	4
4	2024年11月20日	15:43:45	8	3.0	1
5	2024年11月20日	15:45:03	9	2.8	1
6	2024年11月20日	16:46:10	10	3.1	1
7	2024年11月20日	20:51:59	10	3.3	2
8	2024年11月21日	23:30:18	9	4.1	3

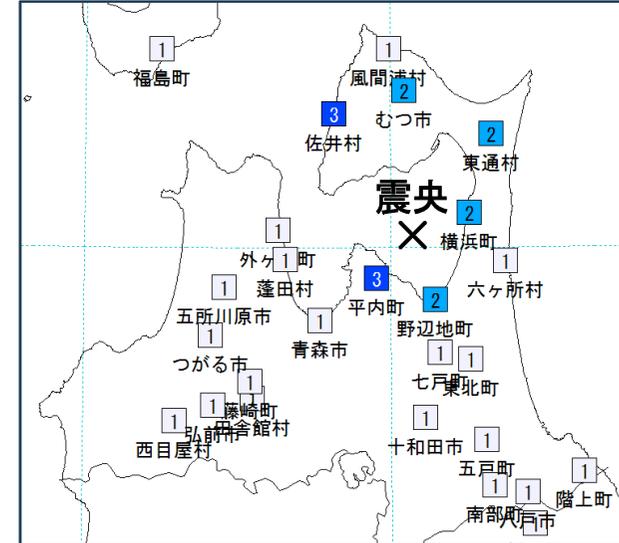
主な地震の震度分布 (市町村別震度)



No.1の地震
2024年11月16日21時22分
深さ 8km M4.6
最大震度 4:平内町



No.3の地震
2024年11月20日15時40分
深さ 10km M5.1
最大震度 4:平内町,野辺地町,横浜町
,佐井村



No.8の地震
2024年11月21日23時30分
深さ 9km M4.1
最大震度 3:平内町,佐井村

仙台管区気象台作成

地震活動の見通しと防災上の留意事項など

(今後の地震活動の見通し)

- 陸奥湾の地震活動は、20日の地震発生直後は活発でしたが、時間の経過とともに低下してきています。しかし、身体に感じない地震も含めて地震活動は継続しています。
- なお、周辺の過去の活動を見ると、今回と同程度の地震の発生後、しばらく経過した後に比較的規模の大きな地震が発生した事例もあります。

(防災上の留意事項)

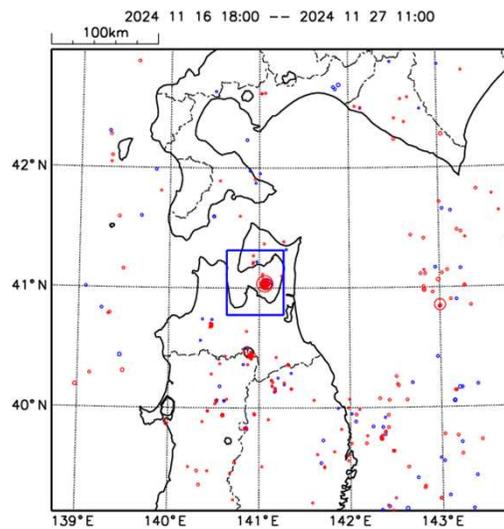
- 今回の地震活動の周辺は、過去に目立った活動がみられていない場所でしたが、このような場所でも強い揺れを伴う地震が発生することがあります。
- 改めて、家具の固定等揺れへの備えや備蓄状況の確認、避難経路の確認等、日頃からの地震への備えを心がけてください。
- 加えて、冬季には暖房器具を利用することから火災への備えや防寒対策などにも気を付けてください。

今回の地震活動

震央分布図（広域図）

11月16日18時～

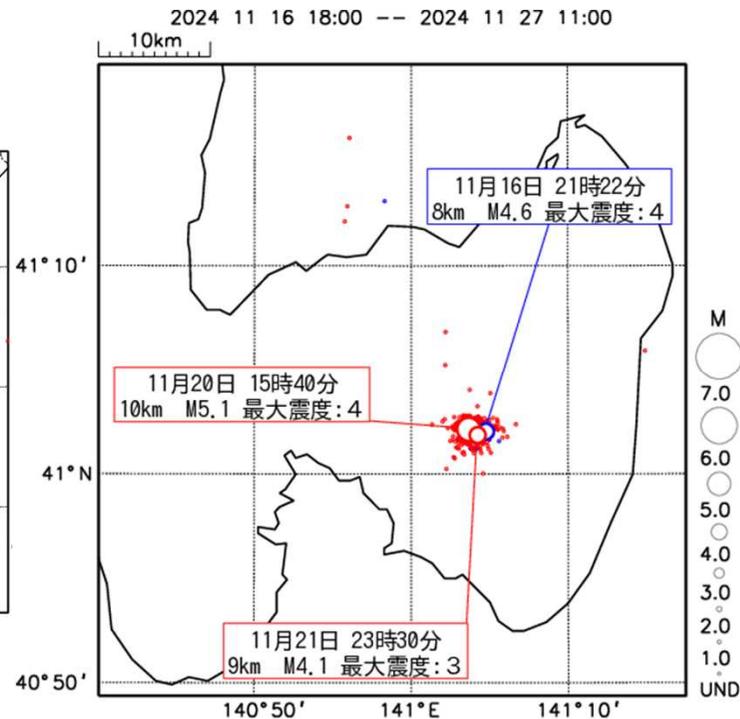
深さ0～30km、M全て



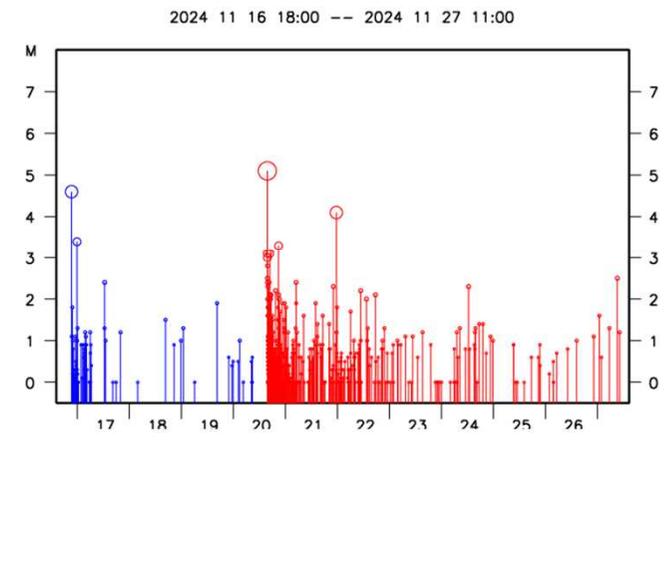
震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

11月16日18時～、深さ0～30km、M全て



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図



（震源の色について）青色：11月16日18時～11月20日15時に発生した地震、赤色：11月20日15時以降に発生した地震

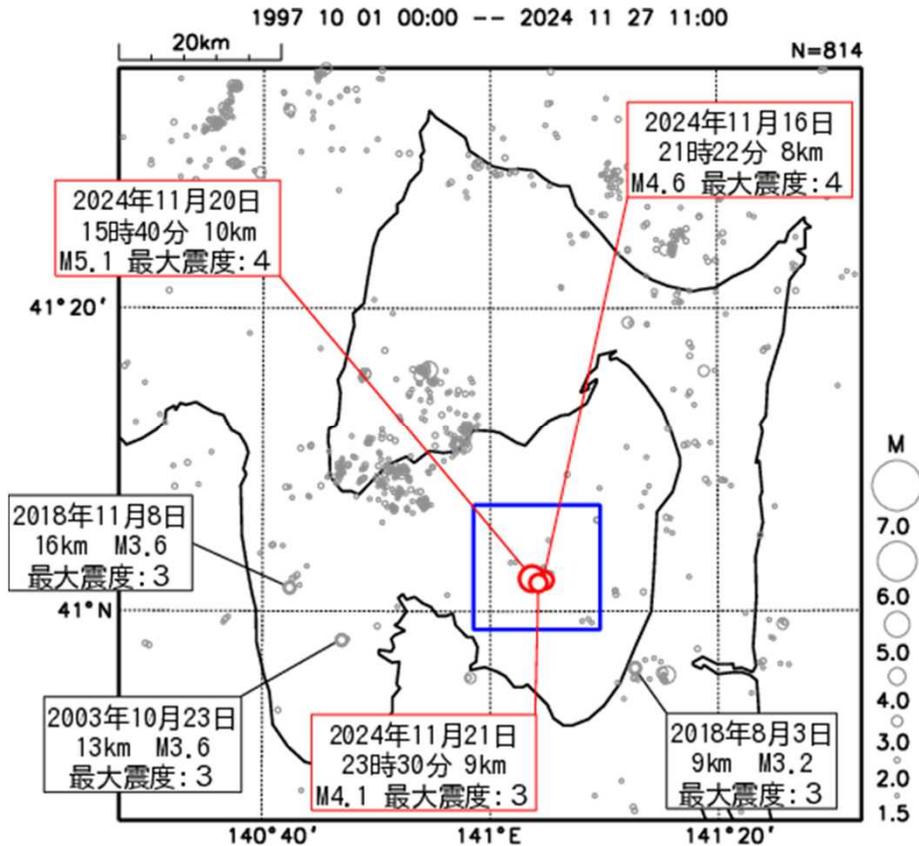
<資料の利用上の留意点>

- 表示している震源は、速報値を含みます。
- 速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されていることがあります。
- 個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

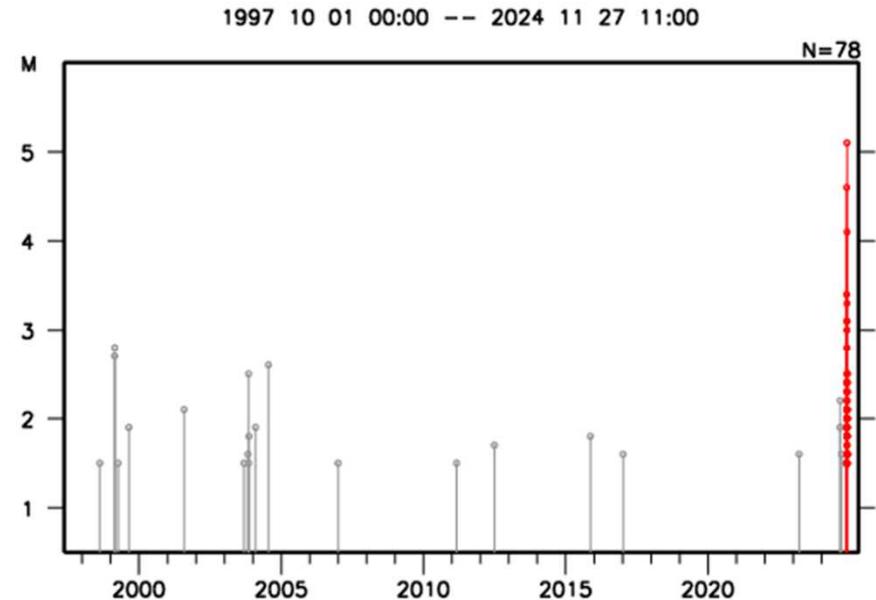
今回の地震活動（発生場所詳細）

震央分布図

（1997年10月～、 $M \geq 1.5$ 、深さ $\leq 30\text{km}$ ）



左図青色矩形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

2024年11月に発生した地震を赤色で表示

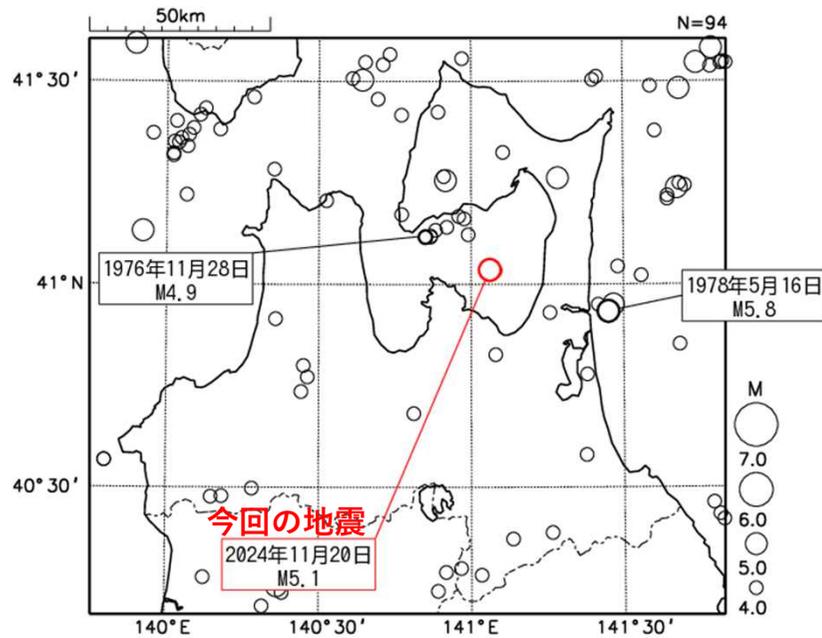
吹き出しをつけた地震は、1997年10月以降、震央地名「陸奥湾」の領域内の深さ0~30kmで発生し、震度3以上を観測した地震

※表示している震源は、速報値を含むため、今後の精査により変わる可能性があります。

仙台管区気象台作成

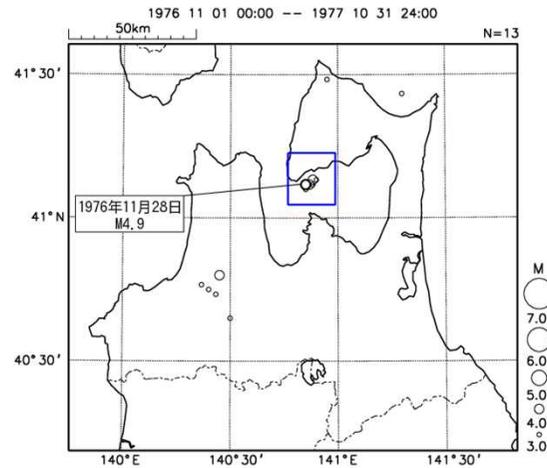
過去の地震活動（1919年以降）

震央分布図（詳細図）
1919年1月以降、深さ0~50km、 $M \geq 4.0$

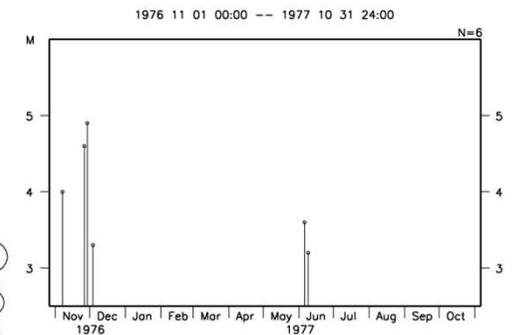


陸奥湾及びその周辺では、1976年や1978年の活動のように、まとまった活動があったからしばらく経過した後活動がみられることもある。

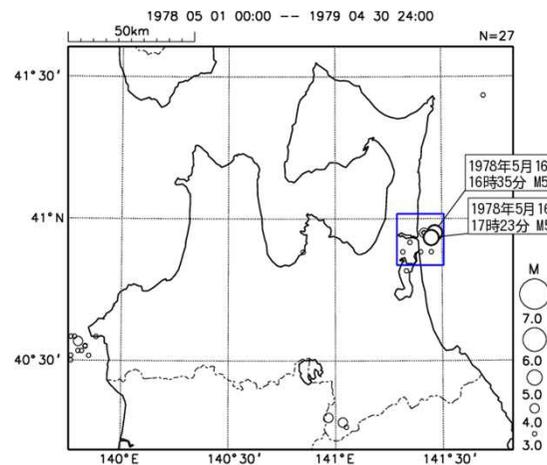
震央分布図
1976年11月~1977年10月
深さ0~50km、 $M \geq 3.0$



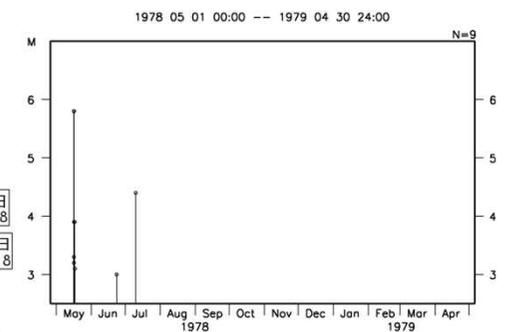
左図青色矩形内の地震活動経過図



震央分布図
1978年5月~1979年4月
深さ0~50km、 $M \geq 3.0$



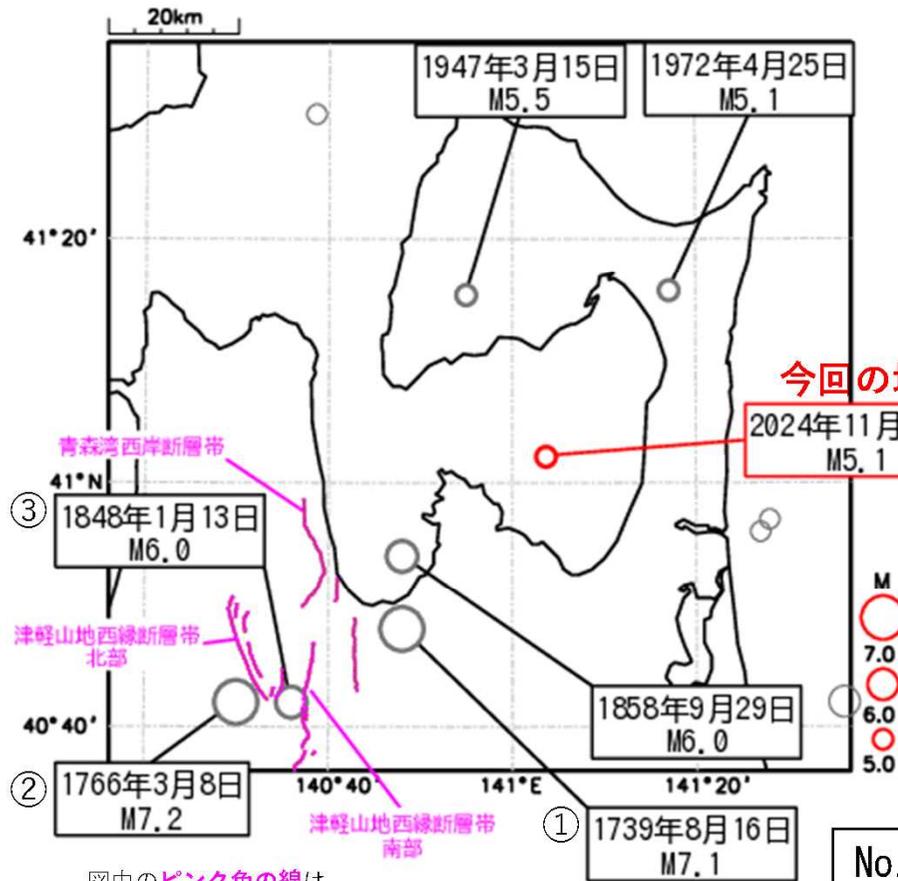
左図青色矩形内の地震活動経過図



※ 当時の地震観測網では、この領域で発生したM3クラス以下の地震が観測できていない可能性がある。

陸奥湾付近の歴史地震（1600年以降）

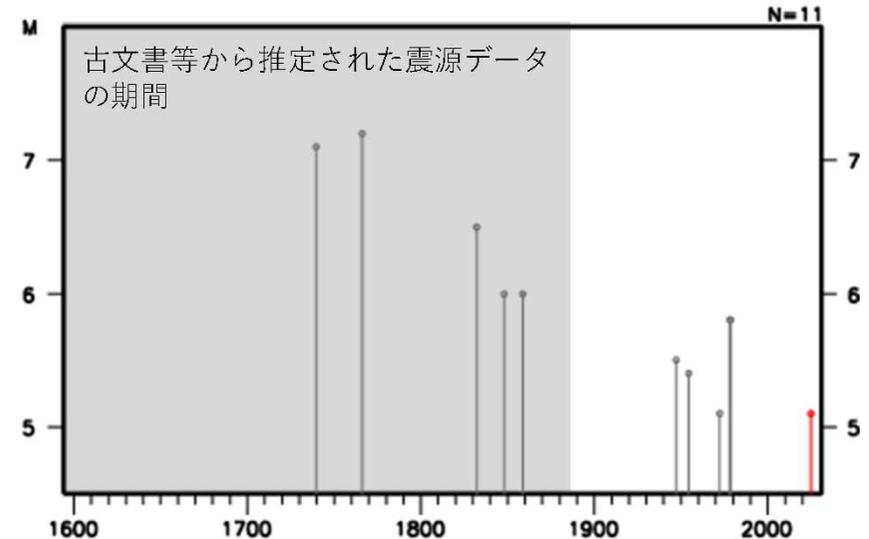
震央分布図（1600年以降、M5程度以上）



図中のピンク色の線は地震調査研究推進本部（地震本部）の長期評価による活断層を示す

※歴史地震については古文書等から推定されたものであり、震源精度はよくない。また、古文書等に記録されていない地震や、古文書に記録されていても震源等が推定できない地震もあり、この図に反映されていないことにも留意。

左図領域内の地震活動経過図



No.	被害の概要（地震本部「日本の地震活動」から抜粋）
①	八戸で家屋被害多数、青森でも蔵潰れる。
②	弘前領内で圧死者1,027人、焼死者308人、家屋倒壊6,940棟、同焼失252棟。
③	猿賀～黒石通りに特に強く、家屋倒壊あり